work
わくわ～くちば
No.111
2018. 10

ワーカーズ・コレクティブ(W.Co)とは…
同じ目的を持った仲間が作り出す、地域に実践な事業／生活・労働・経済を全員で担う／動くことを通し、社会的・経済的・精神的豊かさをめざす

研修報告

ワーコレの新しい未来に向けて
～一人の百歩より百人の一歩～

もともとは生活クラブ生協から発生したワーカーズ・コレクティブだが、組合員の中にも、ワーコレという働き方を知らない人が多い。一方で、私たちワーカーズ自身もワーコレとは何なのか？　なぜワーコレなのか？　周りの人に十分伝えられていないのが現状。社会を変える力となり得るワーコレの可能性についてもっと認識を深め、仲間を増やし、継続性のある未来を模索していこう。その足がかりとなる２つの研修会を報告する。

「W.Coについて認知を深める活動への取り組みについて」
虹の街共催学習会

9月7日、生活クラブ生協・虹の街の主催で「ワーカーズ・コレクティブ」学習会が開かれました。

学習会は、虹の街の基本方針FECW共生塾のWGの一であるワーカーズ・コレクティブへの理解を深めるために企画され、木村理事長をはじめ理事・運営委員、センター事務局長ら総勢46名（内W.Co20名）が参加しました。講師は、東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合の理事長で、W.Co連の代表でもある小澤智恵さんが務め、東京の生活クラブ運動の変遷、レイドロー博士の問題提起やワーカーズ・コレクティブ運動の意義と働き方、そして東村山でのデポーからの街づくりの実践をお話しいただきました。

続いて26日には、ともっと事業体の代表で生協クラブ東京の元理事長の和田安香代さんを囲んで座談会を開きました。和田さんからは「事業が継続している。それだけでワーコレが地域のコアな存在になっていること。ワーコレの組織運営は、そのまま地域づくりのノウハウになること。若い人の働きやすい環境を整えるために仕事を切り取り、技術を教え伝えることの必要性や、地域の連携で新たな事業を創造していく」などワーコレの今後の方向性を示唆するお話も伺うことができました。

私たちは、これらの学びを県内６ブロックで開催される働き方講座（仮称）「私たちのハローワーク」に活かしていきます。今後のタイムスケジュールは、10月～11月での秋の集いへの参加とワーコレ職場体験、年度内での講座の開催と続きます。秋の集いでは、虹の街の全面協力で67個の集いへの参加と10分程度のアピール時間をいただいています。職場体験では、希望に応じて事業所が組合員を受け入れます。講座は、虹の街との共催で、６ブロックそれぞれに担当理事が就いて、センター長も一緒に企画が練られていきます。今までにない画期的な事件です。

このチャンスを積極的に活用してください。一人の百歩より百人の一歩。より多くの仲間で踏み出す一歩が社会を変える力となります。

生活クラブ運動の支援者である組合員にワーコレで働くことの魅力を伝え、共感を広げて大きな一歩を踏み出していきましょう。

ワーカーズコレクティブ千葉県連合会理事長　北田恵子

座談会

気づきや共感を拡げる

昔と今を比べると、組合員の意識も変化してきている。以前はいろいろな情報を近所づきあい＝座で先輩組合員から伝達され、知ることが多かったかもしれないが、今は組合員同士のコミュニケーションがあまりなく、ワーコレを知らない組合員も多い。まずはワーコレの存在を知ってもらうことが必要だが、そのためには何が必要か？

なぜワーコレを立ち上げることになったのか、どういうきっかけで参加することになったのかなど、自身の体験談を伝えることが一番。企画イベントやカフェなどで「さまざまな事業所があり、私たちはこんなことをやっています」とアピールする機会を増やすこと。

あなたは地域のために何ができるかと問いかけるよりも、「地域での困りごと、いま自分が不便に感じていること、必要としていることがありますか」のほうがイメージが湧きやすいかもしれない。それが、地域や自分が欲している事業に気づく、目を向けることにつながるのではないか、と思う。　（W.Co福　菊地）

伝える、知ってもらう

配送先でW.coの話をしても、ほとんどの組合員が知らないようです。

座の組合員が多かった頃は座から地区、地区から支部へと組合員活動に関わり、身近なW.coの事業所を知り、W.co起業講座に参加する機会もありました。また、支部活動も活発で企画への参加も多く、直接色々な情報を伝えることができましたが、高齢が多くなり少しの時間で伝えることは難しいのが現実です。

生活クラブの活動で食や環境、福祉等々学び考えてきた組合員がW.coという働き方を知り、身近で必要だと思うこと、地域に密着した介護や子育て・居場所作り等の生活支援、食や環境についての提案の場を持ちたいという思いから、そして自分たちが生き生きと働ける場としてそれぞれの分野でW.coを立ち上げてきました。

様々な事業所の紹介や働き方について説明会の企画で伝えるだけだけはなく、働くことについて共に勉強に励める場を継続して持てるようにして行けたら、と思います。　（W.Co蓮の花　大久保千穂）

新規プロジェクトに取り組んでいます

お片づけ事業プロジェクト

生活クラブ虹の街の「環境を保全し、持続可能な循環型社会をつくること」から始まった、組合員、麓の村の利用者さんを対象としたお片付け事業プロジェクトが始まりました。「おたすけクラブ」として下総エリアをカバーしていきます。回転木馬を拠点とし、エリアの各事業所と連携をとることにより、回収した物のリユース、リサイクル、販売と、地域に新たな就労の場も生みだせる事業だと考えています。　（W.Co回転木馬　後藤）

パーティー料理受託プロジェクト

毎年、生活クラブ千葉グループ新年交歓会のパーティー料理を受託し、食のワーカーズの料理を披露しています。

今年度は、30 周年を迎えたさんぷ野菜ネットワークより 11 月 9 日に行われる記念祝賀会の料理の依頼がありました。ワーコレ千葉県連合会では「パーティー料理受託プロジェクト」を視察し、現地でのテーブルサービスや料理の運搬は食のワーカーズと配送ワーカーズを中心に、当日の取り回等はワーコレ風市のリユース食器で対応するなど経費節減を徹底し、現地との打ち合わせを細やかに行いながら準備を進めています。

また食部会では、メニューの持ち寄りによるバランスやマンネリ感、料理の大きさや分量等今までの反省やレストラン見学等を生かし、パーティーを盛り上げ喜んでいただける料理ができるよう取り組んでいます。　（W.Co 蓮の花　大久保）

特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブ千葉県連合会機関紙『わくわ～くちば』第111号
〒277-0072 千葉県柏市十余二380-9 生活クラブ虹の街センター柏内　TEL/FAX 04-7134-0072
Eメール　wcochiba@s2.dion.ne.jp　Webサイト　http://www.ac.auone-net.jp/~r11/wco.html
発行責任/北田恵子　編集責任/広報委員会　制作/W.Co風車　発行日/2018年10月24日（年２回発行）